



校長室からこんにちは

宇都宮市立清原中学校



令和2年8月17日

No. 5 文責：塩谷勇直

夏休み前のTVによる全校集会を覚えていますか！各種表彰も行いました。

生徒のみなさんは7月31日（金）に行われたTV放送による夏休み前の全校集会を覚えていますか。そしていろいろなアドバイスを夏休みからの学習や生活に生かしていますか。

私から各種表彰状伝達と「目標をもつことの大切さ」について話をしました。その後、学習指導主任の黒崎先生からは「教科ごとに具体的な目標を立てる。よい計画を立てる。実行するために自分に厳しく・第三者にチェックしてもらおう。」こと、生徒指導主事の手塚先生からは「常々3密を防ぎマスクの着用といったコロナウイルス感染症対策を怠らない。交通ルール・マナーを守ることはもちろんのこと、軽微な交通事故であっても警察に通報する（してもらおう）。近くの河川等でくれぐれも危険を冒さない。」ことなどが話されました。夏休み以降においてもこれらの話を思い出し、様々な活動に取り組んでください。



弓道部の表彰

女子ソフトテニス部の表彰

学習指導主任の話

生徒指導主事の話

1年生も頑張っています。クリーン活動や食農体験活動で、除草に全力投球！

雨で二度延期された1年生のクリーン活動も7月22日（水）に実施することができました。蒸し暑い中、マスクを着用しての除草は予想以上に大変でしたが、1年生のみなさんも真剣に取り組みました。これで全学年が1回目のクリーン活動を実施したことになります。

さらに、1年生は食農体験でサツマイモの栽培をしており、夏休み中に畑が雑草で覆われないようにするため、今年は部活動の1年生の力を借りて、除草を行いました。これで土の養分が雑草に奪われることなくサツマイモの成長に使われ、大きなイモの収穫が期待できるのではないのでしょうか。秋の収穫を楽しみにしています。

～クリーン活動～

～サツマイモ畑の除草～



夏休みが終了し、9月3日（木）は1学期末テスト、準備万端ですか？！

3年生には県立高校の学校訪問説明会を実施しています！

夏休み中、目標や計画に従って、順調に学習等が実行できたことと思います。まだ暑い日が続くことが予想されますが、期末テストもすぐですので、夏休み中の努力の成果を存分に発揮してください。学習などで成果を得るには、「できるまで何度でもやる。」「分かるまで最後までやる。」ことが重要です。一方、進路、健康、人間関係に関する悩みなど様々な不安をもっている生徒もいることと思います。その際は一人で悩まず、担任の先生や家族の方など、身近な方にどんどん相談しましょう。特に、3年生は、夏休み中の県立高校一日体験学習が中止になったことで進路に関して不安があったと思いますが、その代替として本校では県立高校の先生を招いて、学校ごとの説明会を夏休み中から実施していますので活用してください。また、私立高校について、本校では10月2日（金）に私立高校説明会（今年度は生徒のみ参加）を実施します。

教育新時代、新学習指導要領が中学校は来年度（令和3年度）から全面实施！

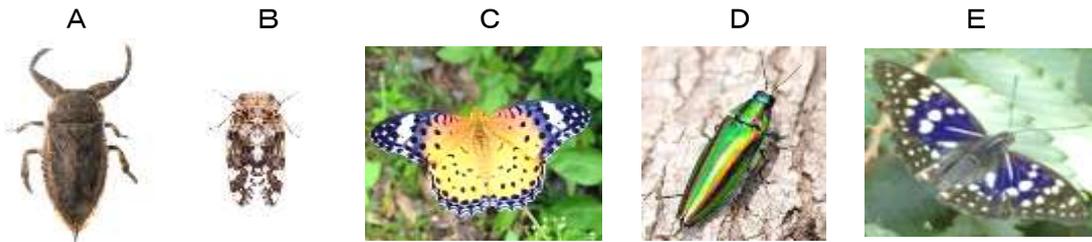
来年度、清原地区では「ゆいの杜小学校」が開校し、中学校では新学習指導要領による学習が始まるなど、ある意味、教育の新時代を迎えます。昨年度もこの時期にお知らせしましたが、新学習指導要領では、学校教育を通して育成を目指す資質・能力を「知識及び技能」、「思考力、判断力、表現力等」、「学びに向かう力、人間性等」に再整理し、これらの資質・能力の育成を目指し、「主体的・対話的で深い学び」の実現を求めています。先生方も一人一授業公開などの研修を熱心に行い、話し合い活動などを積極的に取り入れて、根拠を明確にして説明させるなどの学習活動を取り入れながら、次の三つの視点に立った授業研究を行っています。

- ① **主体的な学び**…学ぶことに興味や関心を持ち、自己のキャリア形成の方向性と関連付けながら、見通しをもって粘り強く取り組み、自己の学習活動を振り返って次につなげる学び
- ② **対話的な学び**…子供同士の協働、教職員や地域の人との対話、先哲の考え方を手掛かりに考えること等を通じ、自己の考えを広げ深める学び
- ③ **深い学び**…習得・活用・探究という学びの過程の中で、各教科等の特質に応じた「見方・考え方」を働かせながら、知識を相互に関連付けてより深く理解したり、情報を精査して考えを形成したり、問題を見いだし解決策を考えたり、思いや考えを基に創造したりすることに向かう学び

校内は「興味の宝庫」！この夏、清原の杜で見られた気になる昆虫を紹介します。

清原中には、自然豊かな校庭や光の庭やゆったり設計された校舎など、他校には見られないかけがえのない環境があります。私個人としては、幼少時に昆虫博士になりたいと思っていたぐらい虫好きだったので、昼休みなどに校庭を回っていると、クワガタを手にした男子生徒やカエルを一杯集めて遊んでいる女子生徒を見かけることがあり、つつい微笑ましくなります。また、今年度は教室で、メダカ、熱帯魚、エビ、カブトムシ、クワガタムシ、トカゲなどの小動物を飼育しているクラスが9クラス程あります。子供たちも学校行事などが次々に無くなる中、何か前向きな事をしてみたいという気持ちがこのような取組に出ているのではないのでしょうか。

さて、次のA～Eが、この夏、この清原中で見られた興味ある昆虫です。みなさんは、これらの昆虫についての程度ご存じでしょう。



- A：タガメ → 先生方全員でプール掃除をした際に発見、絶滅危惧種で非常に珍しい昆虫（40年前には鬼怒川の水溜まりに大量にいた）、小魚なども捕食する肉食の水生昆虫
- B：ニイニイゼミ → 「ニーニー」と鳴く体調35mmぐらいの小型のゼミ、通常7月初旬から鳴き始める初夏到来（梅雨の終わり）を告げるゼミ、今年、穀数から考えると少なくとも200匹以上が本校で羽化、このゼミの出現後にみなさんがよく知っている大型のアブラゼミ（真夏のゼミ）が出現
- C：ツマグロヒョウモン → 40年前は栃木県では全く見られなかった暖地性の蝶、本校ではせせらぎ学級で5匹程度の幼虫を飼育し、見事、蛹化及び羽化に成功させて校庭に放蝶、パンジーを食草とするので都会の住宅街等でも普通に見られる蝶、地球温暖化の象徴とも言える昆虫、写真はメス
- D：ヤマトタマムシ → この昆虫の美しい翅で装飾した法隆寺の玉虫厨子（今は暗褐色に変色）はとても有名、エノキ・ケヤキ・サクラなどを食木とする、通常木の高所に生息、今年の発見個体は、偶然本校自転車置場に飛来
- E：オオムラサキ → 国蝶として大変有名、清原東小の3年生がこの蝶の放蝶会を行っているので、清原東小出身の生徒にとっては身近な蝶だが、この蝶が飛来する宇都宮市の中学校は本校ぐらい

＝保護者からの体罰等にかかる相談機会のご案内＝

本校教職員等の体罰・不適切な指導などについて、ご相談したい保護者の方がおりましたら下記の期間で相談機会を設定いたしますので、本校副校長（028-667-0101）まで電話でご連絡ください。

～相談期間～ 8月26日（水）及び27日（木）

※上記以外の期間でも随時対応させていただきます。

※今回は文書による案内はありません。

